

第76回車座集会（宮前区）結果概要

1 開催概要

日 時 令和7年9月6日（土） 10：00～12：00

場 所 宮前区役所2階ロビー

（1）テーマ等

アートでつながる宮前区

- ◆アートに関する区の取組や地域デザイン会議の議論を共有
- ◆意見交換①
アートの可能性（アート×〇〇）のアイデア出し
- ◆意見交換②
アートをマッチングする仕組みづくりについて

（2）参加者、傍聴者

計23名（参加者13名、傍聴者10名）

2 アンケート結果

2ページ以降参照

3 意見交換の概要等

6ページ以降参照

第76回車座集会（宮前区）アンケート集計結果

回答率：100%
参加者 13/13人

●今回の実施内容について

問1 本日のテーマはいかがでしたか。

(参加者)

よい	よくない	どちらともいえない
13	0	0

参考：（傍聴者）

よい	よくない	どちらともいえない
9	0	0

問2 本日参加いただいた御感想を教えてください。

(参加者)

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
13	0	0

参考：（傍聴者）

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
8	1	0

問3 本日の車座集会で心に残った発言や、本日の議論を踏まえて、皆様自身や地域全体で取り組むことができる内容など

- (参加者) ✓公園をいかしたい。
- ✓アートで地域を盛り上げる企画を立てて、そこで新たなつながりができます。この取り組みが継続的に発展していくべきだと思います。
- ✓仕組みのつくり方を考えたいですね。
- ✓励みになりました。アーティストのPRの場と、それを活用したい側がマッチングする仕組みは必要だと思いました。
- ✓ストーリーが大事。発表の場が少ない。
- ✓アートがポジティブなものだけでなく、ネガティブや弱い立場の人のリアリティを伝えることで救われる人もいるんだということ。
- ✓まずはお互いにアートに関心のある人同士がつながることの大切さに気付きました。そこからどう点をくっつけていくか考えていきたい。
- ✓ストーリーが大事！
- ✓地域の中で絵画レンタル事業を企画していくとよいと思いました。
- ✓スポーツ阿波踊り！

問3 本日の車座集会で心に残った発言や、本日の議論を踏まえて、皆様自身や地域全体で取り組むことができる内容など

参考： ✓アート×○○→外に出して人に見てもらう。キットパスでウインドウアートなどできることがたくさんありますね。

- ✓区役所でアート関連のイベントを行ってもその取り組みを知ってもらえる範囲には限りがあるよう感じることから、駅付近で行ったり企業との共同イベントを行うといったことが必要と感じた。
- ✓地域の公園でのイベントがとてもよい。
- ✓こうした座談会をどう持続するか、という話が最後にテーマとして扱われましたが、個々の内発的動機をどう育むかが大切だと思いました。イベントに足を運ぶ前の勇気ある一歩は、自信のキャリアや生活への疑問から生まれるように考えます。キャリアデザインについて考える場があると良いと思いました。
- ✓ストーリーが大切。アートとは心を動かすもの。公園を活用。アート×○○で誰にでもなじみやすくなる。
- ✓アートというのは様々な場面で身近にあるのがわかりました。
- ✓オフラインではできませんが、オンラインならできます。
- ✓「アートとは特別なアーティストだけのものではない」という内容に共感しました。だれでも参加できる、触れるができる機会が増えるし良いと感じました。高津区在住なので自分の地域でもアートを盛り上げていきたいです。

問4 車座集会で取り上げてほしいテーマや御意見など

(参加者) ✓ SNS

- ✓ 健康とウェルビーイング
- ✓ 街づくり

参考：
(傍聴者) ✓ 若者のボランティアが少ないと言われているため、「若者が地域活動に参加するメリット、参加してもらうには」というテーマで意見交換したいです。

✓ 高齢者の居場所がない。

✓ 大手チェーンではなく、地元で経済圏をつくるためにはどうしたらよいか。



ART FOR ALL
KAWASAKI

川崎市



第76回 車座集会(宮前区)

テーマ:「アートでつながる宮前区」



宮前区役所
令和7年10月1日

アートの可能性のアイデア出し
①

アートをマッチングする仕組み
②

主な意見

- 無機質な場所の中で異彩を放つものがあることでアートを考えるきっかけになる。
- 作品制作の過程に触れる環境が日常の中にあることで、作品を見た人が親近感やクリエイティブマインドを持てるようになる。
- 日常の中にある公園、通勤路などを展示・ワークショップの場所として活用できないだろうか。
- 公園を活用することで「私たちの公園」として愛着を持ってもらうことができる可能性がある。



まとめ

✓ 【日常の中でのアート】

アートを無機質な場所や日常の中に取り入れることで（「既存の〇〇」+アート）、アートに触れるきっかけとなり、ポジティブな気持ちや心の豊かさが育まれる。

✓ 【まちを舞台にしたアート】

公園や通勤路などまちの中で展示やワークショップを行うことで「私たちの〇〇」となり、地域への愛着や興味を持つきっかけとなりうる。

✓ 【ストーリー・共感を重視したマッチング】

SNS等を活用し、作品・展示場所それぞれのストーリーを伝えていくことで共感を生み出し、仕組みが形骸化してしまうことを防ぐ。

✓ 【点から線へ、線から面へ】

各地でアートに関わる人を掘り起こすような取組（「点」）を増やし、SNSや情報共有の場を活用しながら「線」でつなぐ取組を広げていくことで、「面」である「アートでつながる宮前区」の実現につながる。

方向性

アートに関連した取組（点）を区内に増やし、その取組をつなぐ（線にする）ことで、アートの力を活かしながら、区の魅力発信や課題解決につなげる

短期的な取組（R7～8）

点を増やす取組

- アートに関連したワークショップ等の開催
⇒ことらー等と連携し、アートに触れる機会を作り、クリエイティブマインドを醸成
- 区役所等の公共施設や民間施設を活用したアート作品の展示
⇒今年度実施の「宮前区役所つながる美術館」をモデルに、公共施設をアート作品を展示する場として活用するとともに、民間施設にも広めていく流れを作っていく
- 日常の公園にアートの要素を入れ込んだ取組の検討
⇒地域の方や地元のアーティスト等に参加してもらいながら、日常の公園の中にアートの要素を入れ込んでいくことで、画一的な公園から「私たちの公園」として愛着を持ってもらえるような仕掛けづくりを行っていく



Keppyさんのライブペイン

点を線にする取組

- LoGoフォームを活用したアート作品展示のマッチングシステムの試行実施
⇒LoGoフォームを活用して、プロアマ問わず展示したい作品を募集し、その作品をオンライン上の美術館として公開して、展示したい店舗等があればそのまま申し込みできる（マッチング）システムを試行的に実施
- 宮前区ソーシャルデザインセンター（SDC）「みやまえBASE」の場を活用したマッチングの実施
⇒アートに関する取組や活動できる場所などの情報を共有するなど、SDCを活用したマッチングを実施
- SNSなどを活用したアートな取組等の情報発信
⇒アートの取組や区の魅力などの情報をSNS等で発信していただける区民を公募し、SNS等を通じてそれぞれ想い（ストーリー）を伝え、共感を生み出すことで、新たな人のつながりが生まれるきっかけをつくる

中長期的な取組（R8～）

- アートの取組（点）を線としてつなぎ、区内に面として広げていく
⇒引き続き、地域デザイン会議や車座集会で議論を重ね、ART FOR ALLの取組等とも連携しながら、アートに関する様々な人を巻き込み、アートの取組（点）を線としてつなぎ、面へと広げていく仕組みについて検討していく

様々な人を巻き込み、「アートでつながる宮前区」をめざす